

まちづくりミーティング要旨

1. 団体等の名称 東海学院大学
2. 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分
3. 場 所 市役所本庁舎 3 階特別会議室
4. 出 席 者 <参加団体>8 名 <市> 市長
5. テ ー マ 本学での体験から感じた行政への提案について

【参加者】 今年度、市消防本部の救急自動車同乗実習に参加しました。今まで人形でのシミュレーションや救命士に関する勉強はしてきましたが、実際の現場は想像できない部分がありました。しかし、実際の現場に立ち会い、心臓マッサージ、電気ショック、薬剤投与等による救急救命処置で人の命を救う場面を目の当たりにしました。自分は本当にやりがいのある、カッコいい仕事を目指しているんだと改めて感じました。とても良い経験ができましたので、今後の後輩にも経験させていただきたいです。

【市長】 そういう現場に立ち会うのは緊張しますよね。市は救急救命士の搭乗率 100%を目指していて、昨年度に達成しました。また、高機能指令台を導入したことで 119 番通報を受けてから救急車の出動指令が速くなりました。訓練を毎日続けていても、実際は色々なパターンの事案が発生すると思います。今後、市消防との同乗実習の際には、そういう点もしっかりやっていきたいですね。

【参加者】 最近、北朝鮮による弾道ミサイルが話題になっていますが、それも含め小中学校ではいつ何が起こるかわからないと思います。もし予想していない事態が起きたとき、どうしたらいいのかわからないと思いますので、非難の仕方などはしっかり備えた方が良くと思います。

【市長】 各小中学校において緊急時の対応マニュアルを整備し、災害時や不審者侵入時等に備えた訓練を実施しています。また、幼稚園や保育所においても避難訓練をしていただいています。各学校現場での訓練経験を活かし、今後も緊急時に対応していきたいと思います。

【参加者】 現在、防災士取得を目指して勉強しています。各務原市で災害が起こった時の避難所運営などの取り組みについて教えていただきたいです。

【市長】 防災ひとつづくり講座を実施しており、受講された方々は地域の防災推進員として活躍していただいています。各務原市には 388 の自治会がありますが、防災推進員は各自治会に 1 人ずついらっしゃらない状態ですので、今後はこの方々を増やしていくことが重要だと思います。また、「共助」の観点から、自治会で防災訓練をたくさん実施していただくようお願いしています。その効果もあり、防災訓練を行う自治会は増えています。災害時に職員全員が災害対応に回れるわけではないので、このように地域の方々のご協力が必要であると思います。さらに、他市と災害協定を結んでおりますので、他市における災害時の対応や経験談などのお話をうかがいながら、各務原市としての対応を検討しております。

【参加者】 私は地域包括支援センターで実習を行いました。地域包括支援センターでは介護に関する相談を結構受けると思いますが、介護に関する相談だけでなく地域の生活に関することも相談できるといいと感じました。

【市長】 市内の地域包括支援センター 7カ所で色々な取り組みをしてくださっており、介護の相談だけでなく、総合相談・支援事業など様々な役割を担っております。しかし、現状は地域包括支援センターの認知度が低いという課題があるので、地域に活用を促していくためにも、様々な PR を行っていきたいと考えています。また、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の方に参加していただくなど、

連携もしていきたいと思います。

【参加者】 隣近所と接点がない人が増え、親の仕事等が原因で子どもの面倒を見る機会や、子育ての相談の場が減っていることから、昔より育児の孤立化が目立っていると聞きました。子育てに困っている親に手を差し伸べられるのは、隣近所だと思うので、子育て中の親子と近所の方が関わるきっかけ作りができれば、もっと素敵なまちになると思います。

【市長】 市としても子育ての孤立化を回避するために様々な事業を実施しております。3月に完成した鶴沼市民サービスセンターは、同一施設内に子ども館と東保健相談センターがあります。そうすることで、子ども館での親同士の交流だけでなく、サービスセンターや東保健相談センターにみえた地域の方々とも交流ができるような場になっています。子ども館では、毎月1回「ばあば・じいじとあそぼう」という、地域でボランティア登録された高齢者と親子と一緒に触れ合う事業を実施しています。他にも、出産直後の不安なお母さん方のために、保健師や助産師さん、地域の先輩ママさんなどが相談に乗ったり、育児支援情報の提供を行う、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」や、保育所・幼稚園において、未就園児と地域の育児ボランティアとの交流の場を提供する「すくすく子育て広場」、地域の方が小中学生に勉強を教える「放課後学習室」など子育て中の親子と地域の方が交流できる事業を実施しております。大学生の方が参加できるものもありますので、ぜひご参加ください。

【参加者】 最近は朝御飯を食べない子どもが増えているそうです。核家族化や共働き家庭の増加が背景にあるようです。そこで、各務原にんじんを使って、栄養価の高いシリアルバーができれば、時間のない朝でも、子どもや大人に問わず食べやすいと思いますので開発されると良いと思います。

【参加者】 災害時の防災食はご飯やパンなど糖質が多く、野菜の栄養面が不足するという傾向があるそうです。災害時に避難できたとしても、栄養バランスが悪いと生活は崩れてしまうと思うので、各務原にんじんを使ったシリアルバーのような、栄養価の高い防災食の開発をしたいと考えています。

【市長】 今年度は、各務原市、ぎふ農業協同組合及び商工会議所と東海学院大学で協定を結び、各務原にんじんを使った商品開発などに取り組んでいますので、もっと具体的に案を作りこみ、ぜひ協議会の場で提案していただきたいです。市内には色々な業者さんがいらっしやいますので、ご協力いただけるのではないかと思います。一緒に作り上げていきましょう。

○参加者まとめのことは

まちづくりミーティングに参加し、各務原市について改めて調べ考える良いきっかけになったと思います。また、各務原市を知ることによって自分の地元がどういった事を行っているのか興味が湧いてきました。各務原市内でも出来る事・出来ない事がありますし、地域や自治会の意見をお伺いしないといけないので、大変だと思いました。本日は他の学生にはできない、貴重な経験ができたと思います。ありがとうございました。

○市長まとめのことは

今日は、皆さんが普段から関心のある内容だけでなく、他の人の話から自分の知らなかったことも知ることができる良い機会になったかと思います。今、皆さんが住んでいるまち、今後住むまちにどれだけ関心を持つか、そのまちに自分は何ができるかを常々考えておくと、将来自分の暮らしたいまちのビジョンが見えてくると思います。また、市としても良いご意見を頂けました。今後も、市に対して気付いた点があれば、ご提言ください。今後の皆さんのご活躍を期待しております。